

IoT を用いた低コストの農作物盗難防止支援サービスの開発事業

有限会社浅草ギ研(いすみ市) × 株式会社房の駅農場(市原市)



平成 30 年度

農工商連携事業展開
サポート事業
専門家派遣

平成 30 年度

新商品
・新役務・特産品等
開発助成



応用で開発された「わなメール」は、盗難防止装置と同様に、センサーが反応したらメール通知、携帯電話に音声送信がされる。

■事業の概要

昨今、農作物保管倉庫及びビニールハウスでの農作物の盗難が問題になっているが、一般的な警備システムはコストが高くなかなか手が出ない。そこで浅草ギ研は、通信コストが安い LPWA 無線を用いた防犯システムを、房の駅農場の協力によりフィールドテストを行いながら開発した。

■事業の成果

まず専門家派遣により、有機的・機能的な連携体としての組織づくり、事業計画の検討等について指導を受けた。これ

を踏まえて助成事業に進み、農作物の盗難防止だけでなく、ハウスや保管倉庫の異常温度も感知・通報する監視装置が完成した。また量産想定価格においても、予定通りの10万円以下に抑えることができ、農業従事者へアピールしやすい価格設定にすることが出来た。

■現状と今後の展望

連携相手を変えつつ、量産に向けた資金調達とフィールドテストを継続中。この間、当装置を応用し、害獣被害の防止のためのわな検知装置を試作した。現在、関東山間部、九州山間部、福島県原発近辺で120台が運用されている。

今後は、農業が盛んな北海道、茨城県など、千葉県以外もターゲットに事業を進めたい。

■支援の感想

当社はエンジニアリングの会社でありものづくりは得意だが、販売やマーケティングが弱点であるということが今回の専門家派遣により気づかされました。これからもセンターの各種支援、助言を受けて事業を拡大し続けたいと思います。

(有限会社浅草ギ研 取締役 石井孝佳さん)

有限会社浅草ギ研

代表者	取締役 石井孝佳
住所	いすみ市岬町和泉 2363-28
電話	0470-80-3140
創業年	平成 15 年
従業員数	3 名
資本金	500 万円
事業内容	電子部品・ロボットの設計・輸入・販売、コンピュータソフトウェア・IoT 機器の開発、等
HP	http://www.robotsfx.com

株式会社房の駅農場

代表者	代表取締役 諏訪聖二
住所	市原市草刈 194-1
電話	0436-76-7123
HP	http://fusanoekifarm.jp/